

## 子どもの道徳性を育てるために

いじめや自殺など、痛ましい問題が多発しています。その背景として、社会が急激に変化し、子どもたちの心の成長が追いつかないことが指摘されています。

そのために、子どもたちの課題解決能力や創造性、感性、思いやり、多様性を受容する力などを育てることが、これまで以上に重要になってきました。

これを受け、来年度から「道徳」の時間が大きく変わることになりました。

「特別の教科 道徳」と名称が変わり、国語や算数と同じ教科という位置付けになります。教科化することで、自立した人間として他者とともによりよく生きようとする道徳性を一層育ませようとしています。

また、授業の内容も【考え、議論する道徳】をキーワードに、変わってきます。これまでは読み物資料を読んで心情を考える授業が多かったです。それが、見方や立場によって答えが1つではない課題に対して、自分ごととして考えたり、友達と対話や議論したりする内容になります。もちろん、子どもたちの発達段階を踏まえ、やってはいけないことは、これまで同様しっかりと指導していきます。

さらに、家庭や地域との連携もより重視されます。大人と一緒に教科書の題材をもとに道徳性について考えたり、ゲストティーチャーとして地域の人から道徳の授業に参加してもらったりなどの場面を多く取り入れていきます。

現在は、移行期間と言って、このような新しい「道徳」の考え方を先取りして実施することができます。金屋小学校では、子どもの道徳性をこれまで以上に育てるために、新しい「道徳」の取組をすでに行っています。

さて、新潟県内の全ての学校では、6月と10月を「いじめ見逃しゼロ強調月間」として取り組んでいます。金屋小学校でも先月はいじめ見逃しゼロを目指して、いろいろな取組を行ってきました。学校だよりの今号では、特集号としてそれらの取組の様子を紹介していますので、ご覧ください。



この中で、子どもたちの道徳性を育てるために、23日の参観日を【道徳の日】と位置付け、新しい「道徳」に向けての取組を重点的に行いました。

特に、保護者の皆様と子どもたちの心の在り方について話し合う「心の懇談会」をはじめて設けました。ここでは、上学年はいじめについて、下学年は金屋っ子の心の実態について、それぞれ話し合いを行いました。短時間でしたが、とても有意義な内容で、家庭と一層連携していくことを確認しあいました。

学校、家庭、地域が一緒に手を携えて、子どもたちがよりよく成長できるように支援していきましょう。  
(文責：校長)



# 「道徳の日」参加した保護者の感想より

～ いじめ見逃しゼロミニ集会 道徳授業参観 心の懇談会 ～

道徳授業を参観して、言い方によって、嫌な気持ちや悲しい気持ち、うれしい気持ちになるので、ぜひプラスの気持ちになれるような話し方を身に付けてほしいと思いました。心の懇談会では、いじめがあった時、学校ではどのようにしているかなど、いろいろと先生からお話を聞くことができたので、大変よかったです。



道徳の授業は大切だと思います。個別のアンケートや具体的な話を聞くと、嫌な思いをさせられた方はよく覚えています。嫌な思いをさせた方は自覚がないと思います。子どもから具体的な話を聞くと新しい発見があると思います。毎日忙しいとは思いますが、よろしくお願いします。

授業は子どもたちがいじめに直面したときの心情や対応についての話でしたが、心の懇談会では、ぜひ先生方の意見を聞いてみたいとお話させていただきました。常日頃、いじめのアンケートや子どもたちの様子に目を配ってくれていると感じ、心強くありがたく思いました。いじめは、時に子ども当事者だけでなく、第三者の子どもや先生、親、すべての人に責任が生じることがあるものです。常に、周りの人に気を配り、日々の様子を見守ることが大事だなと思いました。

いじめ問題が注目される中、保護者の参加が少なかったのが残念です。集会では、学年それぞれ堂々と発表していてよかったです。また、道徳の授業についても活発に意見が交わされていました。初めての試みですが、これからも毎年続けてほしいです。

いじめ見逃しゼロミニ集会では、いじめ問題に対してしっかりと取り組んでいることが分かり、安心しました。また、授業では、子どもたちが子どもたちなりにいじめに対して理解しているのだと感じ、大変よかったです。

お話しに沿って登場人物一人一人の気持ちを深く読みといて、どんな気持ちになったのかを理解していく授業は、とてもおもしろかったです。みんなの意見を聞いて、思いもよらない考えやなるほどなあと考えさせられる意見もあり、子どもたちも楽しく学んでいたと思います。考えの行き違いで起こる問題は、子どもの生活の中でこれからたくさん出てくると思います。家で子どもの話を聞いたり、子どもが悩みを打ち明けてくれたりできるよう、わたしも心に少しゆとりをもちたいです。

# 「校内いじめ見逃しゼロ強調月間」での様々な取組

6月5日(月)～6月23日(金)

## わんぱくグループで遊ぼう

水曜日のロング昼休みにわんぱくグループで助け鬼やドッジボールなどをして仲良く遊びました



## 人権教育・同和教育出前授業15日(木)

村上市人権擁護委員協議会会長の富樫勇巳様から授業をしていただきました。

授業では、「人は支え合って生きている」「みんな違ってみんないい」等、みんなで生きるために大切なことについてのお話がありました。話の内容もそうですが、富樫様の手品を交えたパフォーマンスに子どもたち、職員も時間を忘れ、聞き入っていました。

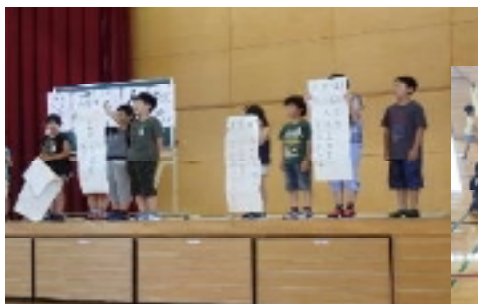


## 道徳の日 23日(金)

### いじめ見逃しゼロミニ集会

児童会の運営委員会が集会を行いました。

集会でははじめにクラスで考えた標語を発表しました。次にみんなで仲良くなるために全校で「進化ジャンケン」で遊びました。



- 1年生：「いれて。」と言われたら「いいよ。」と言おう。
- 2年生：みんなできょうりょくして、元気で楽しいクラスにしよう。
- 3年生：だれとでもなかよくすればいじめゼロ
- 4年生：笑顔でなかよく活動スマイル4（フォー）
- 5年生：みんなで遊び、みんなで協力し、みんなで盛り上げる！！
- 6年生：鏡見て人によって変えてるぞ



## 心の懇談会



## 「いじめ」がテーマの全学年道徳授業公開



子どもたちは、「自分だったらどうするか」「相手にどのようにかかわったらよいか」等を真剣に考えていました。

保護者の方と教職員で2つのグループに分かれ、話し合いました。普段思っていること話し合い、とても有意義な時間となりました。(詳しくは4ページをご覧ください。)

この他にも月間中、子どもたちに「いじめについてのアンケート」を取りました。それをもとにして6月26日～30日に一人一人との面談を行いました。この月間は、11月にも行います。